

～ メルセデス・アンサンブル ～

共演を機に意気投合し、2022年京都のカフェ・モンタージュにて命名。二重奏から五重奏まで編成を変えながら、ロマン派を中心としたさまざまな作品に取り組む。音楽性、音色、人間性ともに絶妙なバランスを有する奇跡のアンサンブル。この5人でしか成し得ない濃密な響きと変幻自在な音楽で聴衆を魅了する。



上里 はな子 (ヴァイオリン)

桐朋女子高校音楽科を経て、ウィーン国立音楽大学に首席で入学。バガニー二国際ヴァイオリンコンクール第5位、ヤッシャ・ハイフェッツ国際ヴァイオリンコンクール第2位。ウィーンで8年間研鑽を積み、帰国。以来、全国各地でソリスト並びに室内楽奏者として活発に活動する。高い技術に裏打ちされた深く美しい音色に定評があり、共演者からも高い信頼を得ている。これまでに7枚のCDをリリース。ピアノ五重奏団「Mercedes Ensemble」メンバー。愛知県豊橋市にて毎年開催される室内楽講習会「愛知カンマームジークアカデミー」主宰。

ビルマン 聡平 (ヴァイオリン)

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業。同大学を経て、ローザンヌ高等音楽院卒業。同大学院修士課程修了。日本演奏家コンクール優勝、YBP国際コンクール優勝、大阪国際コンクール第3位入賞。新日本フィルハーモニー交響楽団2ndヴァイオリン首席奏者。ピアノ五重奏団「Mercedes Ensemble」メンバー。「CHILL CLASSIC CONCERT」企画、及びコンサートマスター。



坂口 弦太郎 (ヴィオラ)

NHK交響楽団次席代行ヴィオラ奏者。東京芸術大学大学院室内楽専攻（ヴィオラとピアノの二重奏）修了。第9回日本室内楽コンクール第3位入賞。（原田恭子：Pfとの二重奏）併せて奨励賞受賞。ピアノ五重奏団「Mercedes Ensemble」メンバー。これまでにヴァイオリンを大槻 洋子、大熊 庸生、天満 敦子の各氏に師事。ヴィオラを中塚良昭氏に、ヴィオラとピアノの二重奏を松原勝也氏に師事。

江口 心一 (チェロ)

3歳からバイオリンを始める。8歳でチェロに転向。1992年 フランスのパリ国立高等音楽院に首席で入学。1997年パリ国立高等音楽院で一等賞（プルミエ・プリ）を獲得。2000年1月より東京都交響楽団団員。現在、同交響楽団 副首席。ピアノ五重奏団「Mercedes Ensemble」メンバー。洗足学園音楽大学非常勤講師。これまでに「20世紀の無伴奏チェロ作品」「和 CELLO～無伴奏作品集～」他、ヴァイオリンとのデュオ2枚、弦楽三重奏2枚、「Dialogue～涙の理由～」(2017年7月)、「メンデルスゾーン ピアノ三重奏曲 第1番&第2番 東京トリオ」(2019年12月)等、CDを多数リリース。



©平岳平



© Toru Hiraiwa

島田 彩乃 (ピアノ)

桐朋女子高等学校音楽科を首席卒業。パリ国立高等音楽院、エコールノルマル音楽院修了。文化庁海外留学制度研修員としてライブツィヒ音楽大学にて研鑽を積む。これまで国内外数々のコンクールにて優勝、入賞。東京フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団、シドニー交響楽団等と共演。CD『ドビュッシー／デュティユー／ラヴェル』『ブラームス：ピアノ作品集』（レコード芸術特選盤）をリリース。室内楽にも精力的に取り組む国内外アーティストと多数共演、NHK BS「クラシック倶楽部」、NHK-FM等にて公演の様子が度々放送される。現在、桐朋学園大学、洗足学園音楽大学各講師。



2025年6月30日（月）
18:30開場 19:00開演

ルーテル市ヶ谷ホール

東京都新宿区市ヶ谷砂土原町1-1
TEL 03-3260-8621

交通案内

- JR総武線市ヶ谷駅地上出口 徒歩7分
- 都営地下鉄新宿線市ヶ谷駅A1出口 徒歩7分
- 東京メトロ有楽町線市ヶ谷駅5・6番出口 徒歩2分
- 東京メトロ南北線市ヶ谷駅5・6番出口 徒歩2分

<会場MAP> ルーテル市ヶ谷ホール

